

あきらめちゃいけん！

～防府市の高齢者支援が変わります～

防府市の高齢者支援は、「住み慣れた地域でいつまでも普通に暮らせる幸せの提供」を目標に「短期集中予防型通所サービス」を中心としたサービス体系に変わります。

介護サービス等の支援が一度必要になった人でも、「元の生活に戻る」ことを目指す仕組みを構築しました。

令和３年１月から スタート！

どんなサービスになるの？



明らかに介護が必要な人は これまでどおりの介護サービスを 利用していただきます。



① 介護相談窓口

生活での困りごとや身体の状態を詳しくお聞きしたうえで、地域包括支援センターの職員と早期に関わる体制を構築し、必要な人へ適切な支援を行っていきます。

② 訪問アセスメント



介護サービスのプロであるケアマネジャー等とリハビリ専門職が自宅を訪問し、生活の様子や身体の状態を確認。元の生活を取り戻すための適切な目標を提案します。

③ 短期集中予防型通所サービス ～ 一人ひとりに合わせたサービス ～ 3か月間



サービス利用日以外の自宅での過ごし方と、現状の課題や今後の目標を話し合う面談を中心とした**3か月間のサービス**です。アセスメントで設定した目標を達成し、サービス終了後自信をもって**「元の生活に戻る」ことを目的**にしています。



④ 地域とのつながりの場



高齢者の生きがいと健康維持のため、社会参加の場を整備し、すべての高齢者が「お互いに支え合うことができる」仕組みを構築しています。



専門職に聞く

今までのデイサービスの概念は捨てて！



老人保健施設 はくあい
理学療法士（PT）
おかざき ひろゆき
岡崎 浩之 さん

短期集中予防型通所サービスは、自分がやりたいことを自分で選べるようになるサービスです。年を取って「できないことが増えてきた」「自信がない」。だからデイサービスやヘルパーをなんとなく利用する。そうではなくて、そこから**“元の生活に戻るために利用する”**のがこのサービスの特徴です。

昨年度の試行実施までは、私自身、このサービスで皆さんがこんなにも元気になるとは思っていませんでした。しかし、一人ひとりに向き合うことで、全員が元気になる可能性があると実感しました。また、サービス終了後もよい状態を維持する人がとても多いこともわかっています。

「孫と走りたい！」「ゴルフをしたい！」など自分の目標をかなえるために、**ちょっと勇気を出して3か月だけ集中して頑張ってみませんか？**

明るい未来が待っています！

体験談01 「自分だけのオーダーメイドサービス」



田中 弘道（たなか ひろみち） さん（82）

脊柱管狭窄症になったことで、両足先がしびれたり歩行中に腰が重く、しばしば休憩しなければ歩くことができませんでした。

しかし、短期集中予防型通所サービスの開始1か月ほどで効果が出始め、15分以上続けて歩くことができるようになりました！

このサービスは、マンツーマンで自分の状況にあったプログラムを考えてくれるので継続しやすく、スタッフさんがしっかり見てくれることで自分も頑張ろうという気持ちを保てました。

最近は、頭を働かせるために地域の友人たちと「健康マージャンの会」を始めました。



今後も、体力を維持していつまでも健康に暮らしていきたいです。

体験談02 「100歳まで生きられたら最高！」



川原 コスマ（かわはら） さん（84）

昨年4月、足を骨折したことをきっかけに歩くことが難しくなり、買い物や入浴ができなくなりました。

短期集中予防型通所サービスを利用する前は本当に元気になれるのか半信半疑でしたが、サービス中に少しずつ改善し、入浴はもちろん、約1.3㎞先のスーパーまで歩いて行けるようになりました。サービス中は1時間かかっていた距離を、今では35分で歩けるようになりました！

また、サービスをきっかけに友達もできたりと、サービスを利用して本当によかったです。

主人のためにまだまだ元気でいなくてはと思い、自宅で毎日ラジオ体操や口の体操を継続し、地域の元気アップ体操にも参加したりと今でも健康維持を心がけています。



問 高齢福祉課 地域包括ケア係（☎ 25-2964 FAX 23-2976）または各地域包括支援センター